

㈱村尾プレス 環境行動計画書

令和3年 6月 9日

取組方針

株式会社村尾プレスは、電子機器部品の顧客ニーズにあった設計及び製造を主たる業務としており、各部門がそれぞれの業務活動の過程で資源、エネルギーを消費すると共に、各種廃棄物を排出するなど環境に負荷を与えています。

これを踏まえて、当社は環境保全が重要課題の1つであると認識し地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら、進歩・発展して行く事を目指して行きます。このため、私たちは環境への負荷を少なくする為に、以下の取組みを社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中でのエネルギー消費量(電力、ガソリン、軽油の使用量)の削減
- ② 紙、水使用量の削減
- ③ 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ④ 危険物・化学物質の安全な管理

この方針に基づいて、社員一人一人が自主的に環境保全活動に取り組む為に、取り組み方針と目標および具体的な取組み内容を全社員に周知します。

令和3年 6月 9日

株式会社村尾プレス

代表取締役 村尾 一正

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも令和2年度です。)

目標年度は令和4年度末までです。

目標一1	二酸化炭素の総排出量を、2%(1883.2kg-CO ₂)削減して 94,161kg-CO ₂ →92,277kg-CO ₂ にする。
具体的な取組	<p>(製造部門での取組)</p> <ol style="list-style-type: none">① 昼休みには、電灯の消灯、稼動していない設備の電源を切る② エアコンを使用するときはサーキュレーター等を併用し空気を循環させる③ ハロゲンヒーターなど、個人使用の暖房機器の使用を制限する④ コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する⑤ ノー残業デーの推進や、作業効率の改善により残業時間を減らす⑥ デマンド監視装置を導入し、設定を契約電力の5%程度とし使用量の見える可を実施する <p>(事務・営業部門での取組)</p> <ol style="list-style-type: none">① 事務所の空調温度を適正温度に設定する② 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する③ パソコンとコピー機の節電機能を活用する④ 社用者の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する⑤ 車の空調温度を適正温度に設定する

目標一2-1	紙の使用量を、1%(0.44kg)削減して 44k→43.56kgにする
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 両面印刷、両面コピーを徹底する ② 片面使用済み用紙の再利用を徹底する ③ 書類、資料の電子データ化を進める

目標一2-2	水の総使用量を、1%(7.6㎡)削減して、760m ³ →752.4m ³ にする。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 配管からの漏水を定期的に点検する ② 洗車用のホースに手元コックを取り付ける ③ 無駄な散水を行わない ④ 手洗い時に節水を心がける

目標一3	<p>金属ゴミの分別を徹底、リサイクルを推進し排出量の削減に努める</p> <p>なお、一般廃棄物については、適正管理と排出量の削減に努める</p>
具体的な取組	<p>(産業廃棄物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 製造工程からの廃棄物の発生抑制に取り組む ② 製造工程から発生する金属屑のリサイクルを徹底する <p>(一般廃棄物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ゴミの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める ② 詰め替え可能な製品、簡易梱包の製品を優先的に選んで購入する ③ 製品をできるだけ長期間使用する

目標-4	危険物・洗浄液の安全管理を徹底する
具体的な取組	① 危険物・洗浄液・使用済み洗浄液は、決められた保管場所に保管する ② 危険物・洗浄液・使用済み洗浄液の容器は、確実に蓋をする

■ 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、1年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組みの実施状況をチェックします。